



Bausch

咬合試験材



**MADE
IN
GERMANY**

Bausch Articulating Papers Japan K. K.



バウシュ咬合紙ジャパン株式会社

...we make Occlusion visible®



ドイツ本社工場



Bausch U.S.A.



パウシュ咬合紙ジャパン株式会社



ドイツ本社 (ケルン)

...we make Occlusion visible®

Bausch — 歯科咬合検査材の 名称および用語

咬合を正しく健全な状態に再生することは、歯科医師や歯科技工士にとって例外なく、大きな課題であることは今も昔と変わりありません。μmレベルのごくわずかな早期接触で、すぐにも咬合障害は起こりえます。処置を行えば、その都度、常に咬合関係は変わります。したがって静的、動的の両面で歯が機能するかどうか、これが治療を成功させる上での要諦です。咬合の定期チェックが、患者の健康をしっかりと支える基礎を形成します。

Dr. Jean Bausch GmbH & Co. KG社は、1953年から特殊な咬合検査材を製造しており、できるだけ自然な咬合の製作という目標を掲げております。会社創業者で???Dr. Jean BauschとDr. Hans Bauschは、咬合力の差を色調の違いで印記すべく、感圧式の咬合紙を開発する必要をかなり以前から認識しておりました。色調グラデーションによるこの原理は、早期接触を確実に発見するための重要な検査技法になっています。



Dr. Jean Bausch
*1890 †1966



Dr. Hans Bausch
*1928 †1998

弊社は着実に開発を重ねて新機軸を取り入れてまいりましたが、その甲斐あって世界をリードするメーカーの一員として、厚み、形状、色のバラエティを取り揃えた、多様な咬合紙、咬合検査用フィルムを幅広い品揃えで提供しております。そしてセラミックや金（きん）などの検査がしづらい表面の上でも目に見えるマーカーも、弊社では最優先のテーマに位置づけています。Bausch社の製品が使用されている国は、120ヶ国以上にのぼります。全製品が、EUの医療用機器に関する法令による指令を厳守しながら製造され、弊社の品質保証部長が絶えずチェックを行っています。弊社では、生理学上完全に無害な原料を使用しております。

このパンフレットは、とりわけ弊社製品を実際にお使いになるユーザーの皆様を対象としており、適切な検査材を選択するときのお役に立てるようになっております。適切に機能する咬合は、患者の全般的な健康状態にとって大切です。学問分野の境界を跨ぐ形で症状をもれなく調べ、診断と治療に役立てることは、既に日常の診療で行われています。したがって、治療を進めるにあたり咬合検査の意義は特に重要です。

咬合と咬合干渉

咬合	静的または動的に上下顎の歯が接触すること
静的咬合	咬頭嵌合において下顎の運動が伴わない歯の接触
動的咬合	下顎の運動により発生する歯の接触
中心咬合位	顎頭安定位における静的咬合（図1）
最大咬合位	（= 最大咬頭嵌合位）= 多点接触において最も多くの部位で接触する静的咬合（図2）
習慣性咬合位	習慣的にとる静的咬合（図8）
咬合干渉／早期接触	静的咬合または動的咬合で、1本の歯または歯群が早期に接触すること
中心位での早期接触	顎頭安定位で1本の歯または歯群が早期に接触することをいい、習慣性咬合位をとる際に顎頭位が中心位から偏心位へずれる原因となる接触。（図6）
外傷性咬合	静的咬合および動的咬合、または両者のいずれか一方で起きる早期接触で、歯および歯周組織、または両者のいずれか一方の損傷につながる早期接触。

用語の出典：www.dgfdt.de

CRとはCentric Relation（中心位）の意味です
COとはCentric Occlusion（中心咬合位）の意味です



図1

顎頭安定位（中心位）

【英語：centric relation】顎頭と関節円板の関係が健全で、かつ関係する生体組織の構造にかかる負荷が正常なときは、顎頭の位置は両方とも、頭蓋腹側で側方に転位をしていません



図2

中心位（下顎最後退位）【英語：centric relation】

多点接触において最も多くの部位で接触する静的咬合。主として嚥下中に咬合接触する咬合位。終末蝶番運動（ターミナル・ヒンジ・アキシス・ムーブメント）における両側の下顎頭を結ぶ回転中心及びその運動経路が一定不変で、かつ再現性がある下顎位。すべての歯がカスプ・トゥー・フォッサの関係で均等に咬合しています。

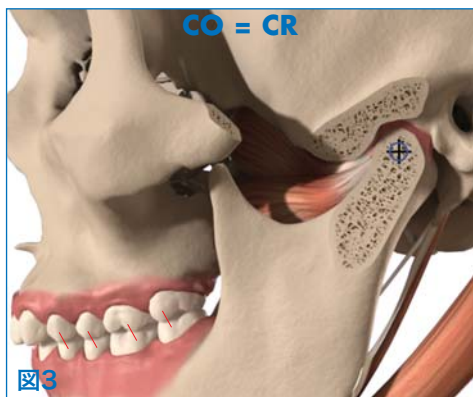


図3

中心位の顎頭

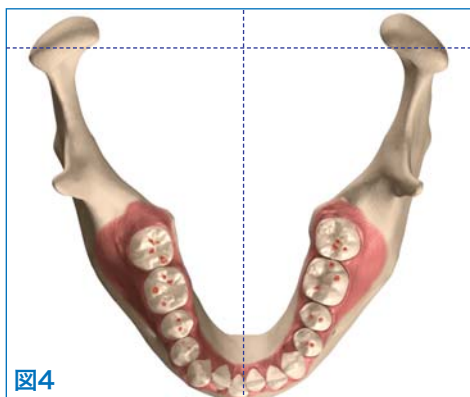


図4

中心咬合位の咬合接触
中心咬合位の方が中心位よりも
0.5-1.0mm前方に位置しているのが普通

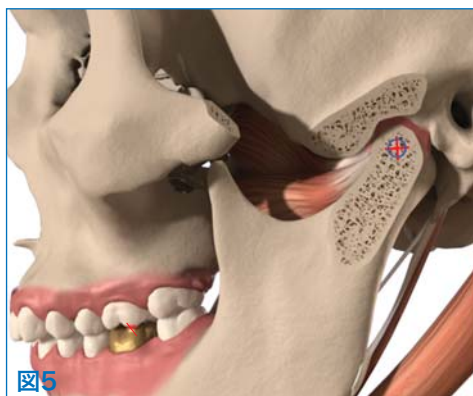


図5

中心位の顎頭

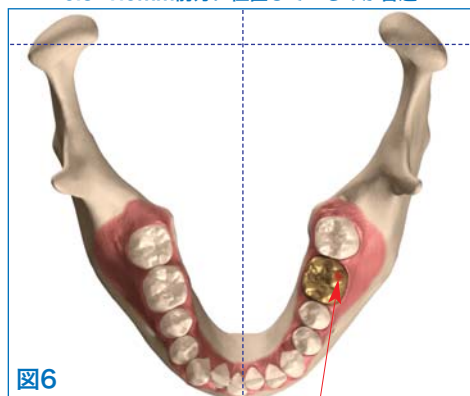


図6

咬合干渉

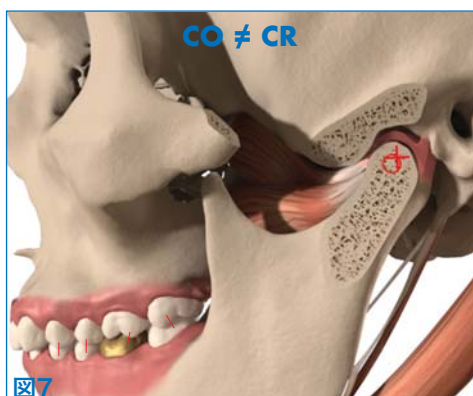


図7

最大咬頭嵌合位で新たに発生した咬合接触

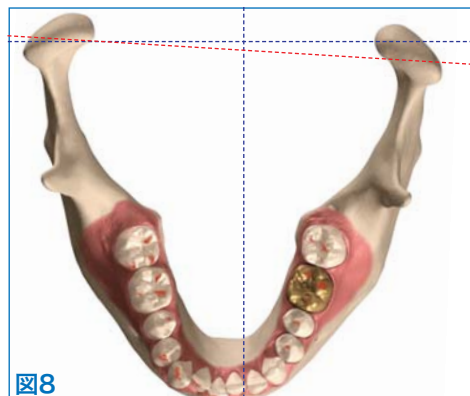


図8

習慣性嵌合位で位置が偏心した顎頭

顎関節症 (TMD 症候群)

Temporomandibular disorders (頭蓋下顎障害)

頭痛

耳痛

耳鳴り

昂進性騒音
過敏症

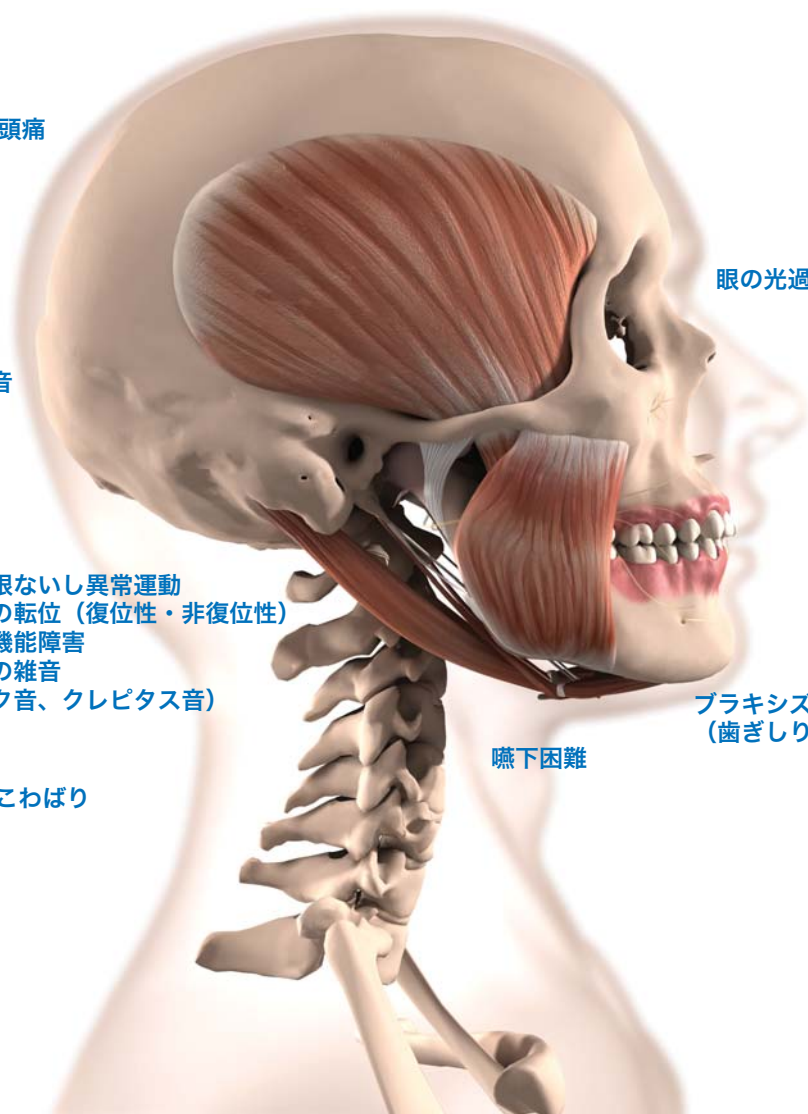
顎関節痛
顎運動制限ないし異常運動
関節円板の転位 (復位性・非復位性)
咀嚼筋の機能障害
顎運動時の雑音
(クリック音、クレピタス音)

首筋のこわばり

眼の光過敏症

ブラキシズム
(歯ぎしり)

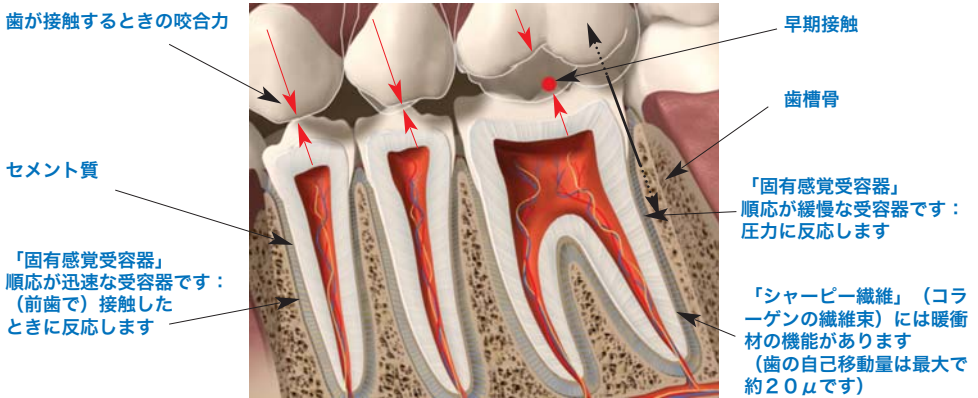
嚥下困難



咬合および咬合干渉による患者への影響

歯科修復、抜歯、補綴治療、顎の整形外科治療を行うと、静的、動的の両面で必ず咬合が変化します。μmレベルのごくわずかな咬合干渉でも顎口腔部が発する固有感覚受容情報が伝わり、不快に感じます。これがブラキシズム（歯ぎしりやクレンチング）に繋がり、頭蓋下顎系統の機能障害を招きかねません。その結果往々にして歯、歯周組織、筋肉および顎関節に余計な負担がかかることとなります。

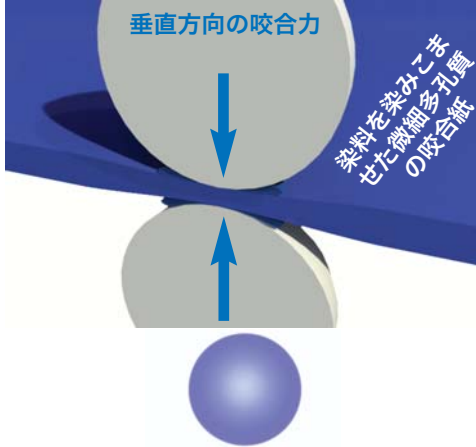
機能面から見た歯周組織の特徴



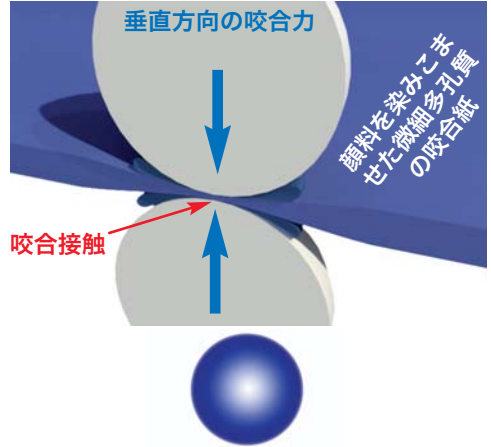
頭蓋下顎系統の様々な機能障害は、早期発見に加えてその予防も大切です。医師や医師の治療が原因で損傷を被れば、患者の習慣性咬合に障害を招くおそれがあります。歯ぎしりやクレンチングなどの急性機能障害が長期間続いた場合、慢性化しかねません。あらたに充填物を詰めたり、クラウンをかぶせたり、ブリッジを製作したりした後、あるいはまた顎の整形外科治療後に、典型的な症状（TMD）を訴える患者については、とにかく咬合を詳しく検査してみることです。早期接触はしばしば不快に感じられるものですが、これは固有感覚受容器が圧力に敏感に反応するためです。患者はあらたな習慣性咬合位を取ってこの咬合干渉を減殺しようと試みようとするますが、結局は関係する生体組織の構造が相応のダメージを被ることになります。

色調グラデーションの原理

咬合圧が小のとき



咬合圧が大のとき

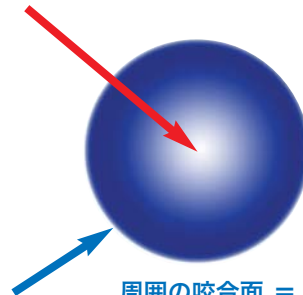


咬合で淡く着色した部分は、咬合接触点ではありません！

咬合で濃く着色した部分は、咬合接触点か早期接触です！



咬合接触／早期接触 = 色調が淡い面
咬合圧はこのエリアで最大です！
(正常な接触のときは、この面が点状になり、
また直径は可能な限り小さくなるはずです)



周囲の咬合面 =
色調の濃いリング状のふくらみ
このエリアは接触点の一部ではありません！

早期接触を確実に発見する

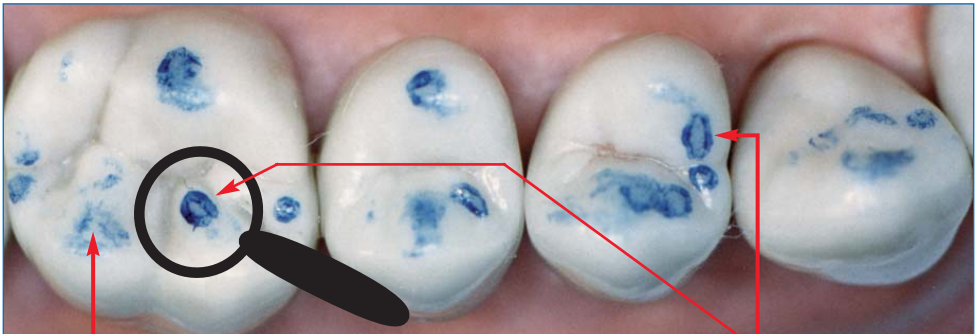
弊社では、咬合を目視でチェックできるようにするために、入念に特性を調整した幅広い商品群を取り揃えております。こうした検査材に対しては多様なご要望をいただいておりますので、多様な紙、シルクおよびフィルムをご用意し、静的咬合および動的咬合において歯間接触関係を精確に分析できるようにしてあります。

咬合面のどこで咬合接触をしているのかを精確に印記して可視化する上で、異なる検査材の組み合わせを弊社では推奨しております。

静的咬合の印記には、色調グラデーション式の Bausch 咬合紙が適しています。柔軟な不織布（紙）のスポンジのような構造が染料量を保持し、その染料が圧力に押されて外へしみ出てきます。接触が強く刻印されたときは（＝咬む圧力が大）、押されてしみ出る染料料の量が多くなります。接触が弱いときは（＝咬む圧力が小）、それ相応に染料は少なくなります。圧力が大きい接触のときは色調が濃いマーカで、圧力が小さい接触のときは色調が淡いマーカで識別できます。唾液で濡れた咬合面でも接触点が目で見えるように、粘着剤 Transculase[®] で接触点の色を最適化します。こうすれば唾液で濡れたセラミックや金属の表面の上であっても、これらの咬合紙は接触点を着色して、くっきりと目視で確認できるようになります。この感圧式咬合紙があれば、習慣性咬合位で咬合圧がどのような高低で分布するのかを精確にわかります。



咬合の接触関係を目視で判断するには、複数の咬合検査材を組み合わせると実効性が高まること、診療場で実証されています。



咬合圧 小

咬合圧 大

周囲のマーカ＝
咬合接触ではありません

実際の接触点です

2ステップ・メソッド

Bausch Articulating Paper 200 μ またはBausch Articulating Paper PROGRESS 100® のいずれかとArti-Fol® Articulating Film 8 μ またはArti-Fol® metallic 12 μ のいずれかを組合せれば、特に金合金またはセラミックなど検査がしづらい咬合面の上でも、数々のメリットが一目瞭然になります。第1ステップの検査は青の咬合紙を用いて行いますが、接触は直ちに目視可能です。また同時に粘着促進剤Transculase® が薄いフィルムになって転写されます。

第1ステップ：咬合紙

咬合検査には、段階的な色調グラデーション200 μ の感圧咬合紙または段階的な色調グラデーション100 μ の感圧咬合紙Bausch PROGRESS 100® Articulating Paperを使用します。



感圧咬合紙
200 μ

または



PROGRESS
100 μ



紙とフィルムの違い

色調グラデーション 感圧紙

- 圧力が加わると印記します
- 面で接触します
- 咬合圧の違いがわかります
- 咬頭咬合位検査に最適
- 湿った咬合面上でもしっかり印記します

フィルム

- 点で印記します
- 早期接触のみを正確にマーキングします
- 咬頭咬合位及び滑走運動検査に使用します



粘着促進剤Transculase® により青く着色した部分がコントラストに富む背景を生み、咬合接触の状況を正確に印記します。

ドによる咬合検査

引き続き第2ステップでは薄いフィルムを使用しますが、その下に来る部分を覆い隠す能力が大きく、青に対し十分なコントラストが得られるという理由から、フィルムの色としては赤を推奨いたします。また粘着促進剤Transculase®の膜により、フィルムの色転写が格段に向上します。この方法において、これ以上の確実性を望むことはできません。従来だとマーキングが不十分であったために、接触点を見過ごしてしまったということがありえます。

第2ステップ：咬合フィルム

咬合検査には、Bausch Arti-Fol® 8μまたはArti-Fol® metallic 12μを使用します。

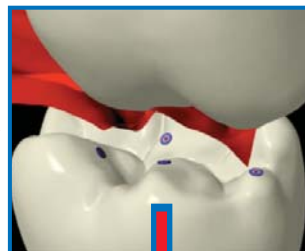


Arti-Fol® 8μ

または



Arti-Fol®
metallic 12μ



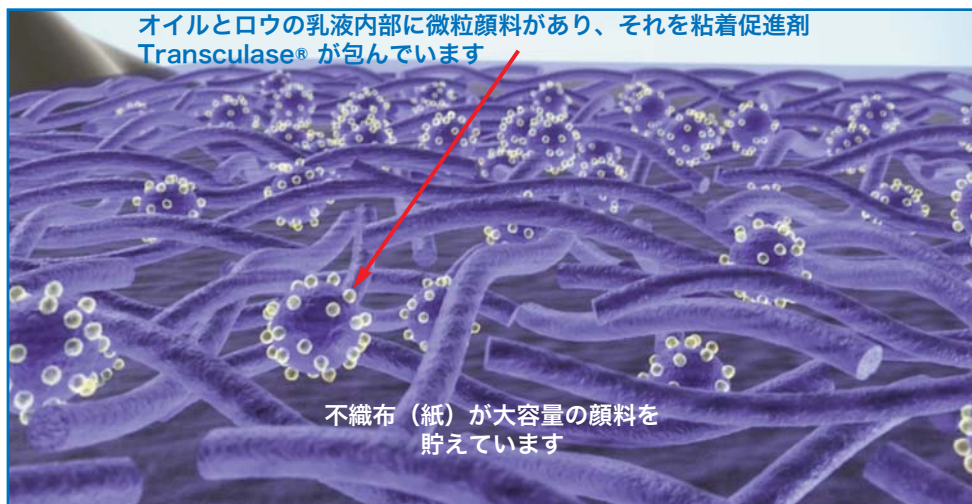
咬合紙に付いているTransculase®粘着促進剤の膜で、
薄い咬合検査用フィルムの点
より見やすくなります。

YouTube
Broadcast Yourself™



段階的な色調グラデーション印記 200 μ バウシュ咬合紙（感圧紙）

段階的な色調グラデーション200 μ つきBausch Articulating Paper
の構造模式図



金合金やセラミックなど鏡面仕上げの面の上でも、
粘着剤 Transculase® により
一段と良好な着色が実現します

オイルとワックス乳液内部に微粒子顔料があります



段階的な色調グラデーション印記 200 μ バウシュ咬合紙（感圧紙）



200 μ の革新的なカラー転写式咬合紙は、濃淡の異なる色調表現により全体的な咬合圧分布をより正確に把握する唯一の咬合紙です。臼歯部の咬合時の歯根膜被圧変異量に合わせて作製されているため従来の咬合紙より、より正確に咬合調整を行えます。

咬合圧が弱いほど印記は明色に、強いほど暗色に表現されます。

口腔内全体のコンタクト部が正確に把握でき、強圧部（ハイスポット部）が即座に把握できます。

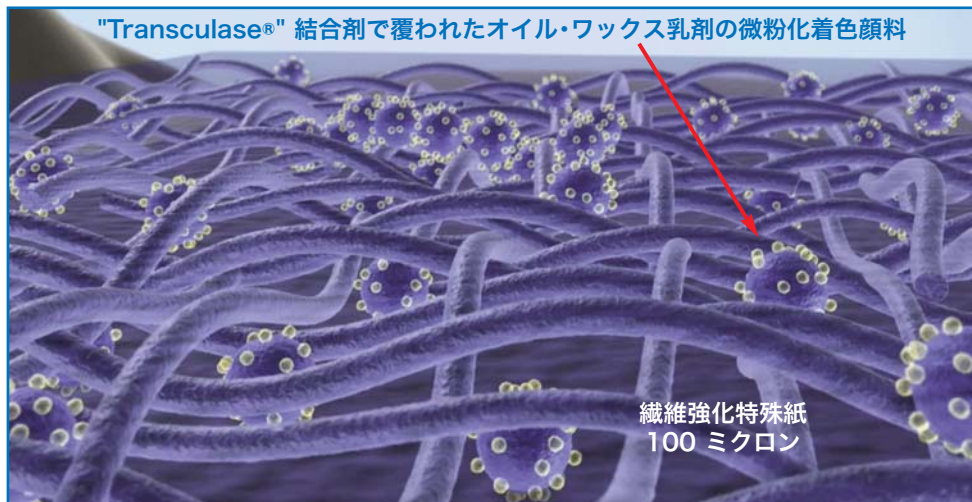
パッケージ：	内容：	入数：	色：	品番：
ブラケース入	短冊型プリカット	300 枚	青	BK 01
BK01	詰替え用（紙箱入）	300 枚	青	BK 1001
ブラケース入	短冊型プリカット	300 枚	赤	BK 02
BK02	詰替え用（紙箱入）	300 枚	赤	BK 1002
ブラケース入	馬蹄型プリカット	50 枚	青	BK 03
ブラケース入	馬蹄型プリカット	50 枚	赤	BK 04
紙箱入	短冊型プリカット	300 枚	青	BK 05

* 短冊型サイズBK01、BK02は17x52mm、BK05は17x 47mm



段階的な色調グラデーション印記 100 μ バウシュ プロGRESS咬合紙 (感圧紙)

バウシュ PROGRESS 100[®]の概略構造



...we make Occlusion visible[®]

段階的な色調グラデーション印記 100 μ バウシュ プログレス咬合紙 (感圧紙)



着色力に優れた滑らかな微細繊維強化紙でできているこの100 μ 咬合紙は、あらゆる咬合面に対して完璧に適応します。フルデンチャー及びパーシャルデンチャーの患者で顎堤吸収が激しく通常の咬合紙では咬合圧を中々コントロールできない症例に対しても、抜群に咬合調整が行いやすくなります。

親水性を賦与したワックスと薬用オイル浸透させた100 μ 咬合紙です。

結合剤であるTransculaseとの今までにない組み合わせで、高度に研磨された金属やセラミックス等の補綴物に対してハイスポットの検出を容易に行うことができます。湿った咬合面に対して有利に使用でき、非常に口腔内環境に適応し得るのが特性です。

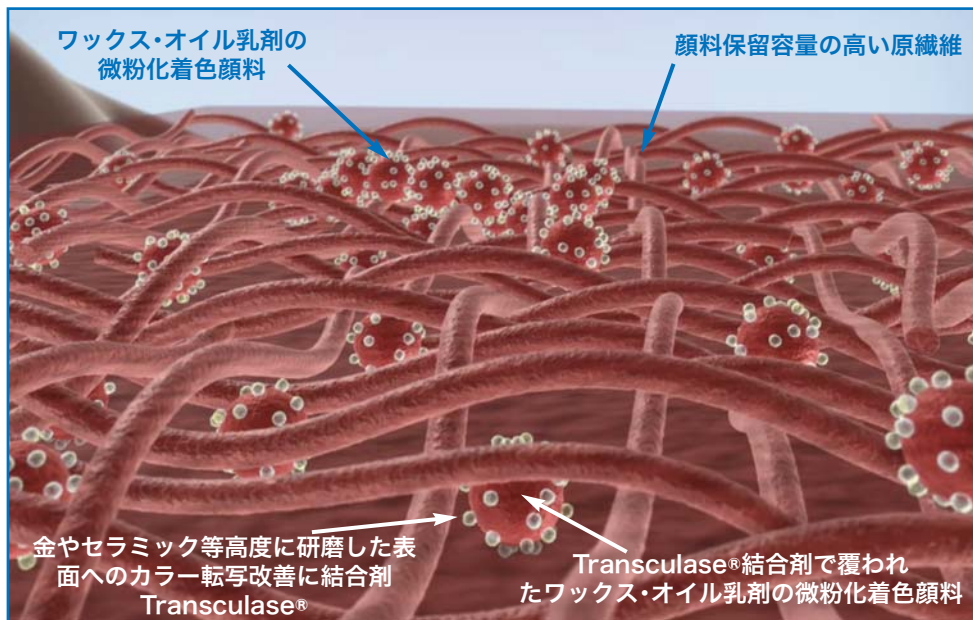
パッケージ:	内容:	入数:	色:	品番:
ブラケース入	短冊型プリカット	300 枚	青	BK 51
ブラケース入	短冊型プリカット	300 枚	赤	BK 52
ブラケース入	馬蹄型	50 枚	青	BK 53
ブラケース入	馬蹄型	50 枚	赤	BK 54
ブラケース入	短冊型プリカット	50 枚	青	BK 57
ブラケース入	短冊型プリカット	50 枚	赤	BK 58

*短冊型サイズ 17x 52mm



段階的な色調グラデーション印記 80 μ シルク咬合紙（感圧紙）

シルク咬合紙（感圧紙）の概略構造



段階的な色調グラデーション印記 80 μ シルク咬合紙（感圧紙）



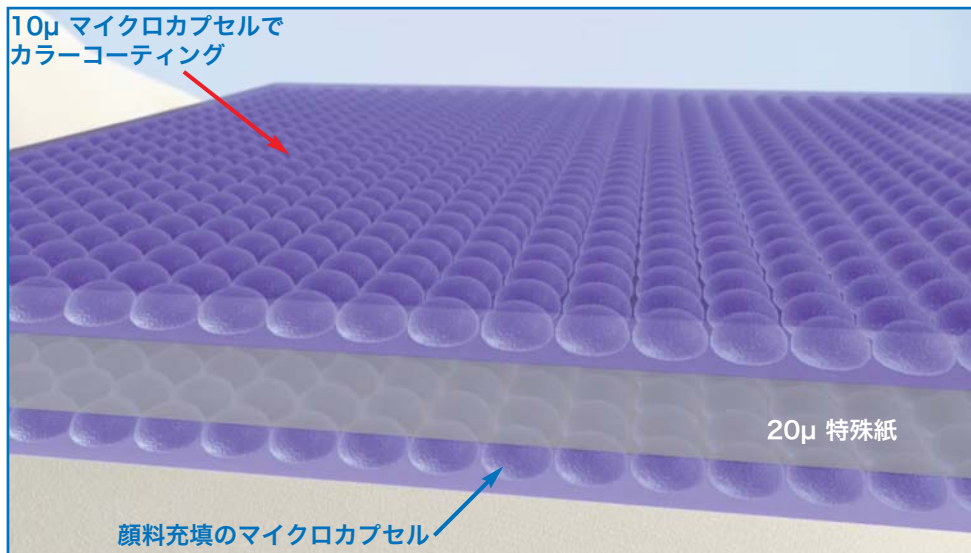
パウシュ 咬合シルクは、パウシュ200 μ 革新的カラー転写式咬合紙と同じ特性を備える高品質天然シルクから作られています。このシルクは耐引裂性が高く、その薄さと優れた柔軟性から咬頭や窩に完全に順応します。シルクの印記は極めて正確なため、よりデリケートな調製品に適しています。

天然シルクはいわゆる原繊維、管状タンパク質構造から構成されており、その組織のため極めて高い顔料保留容量を備えています。咬合シルクは、1片で最高10回使用でき大変経済的なので、とりわけ臨床モデルへの使用に適しています。

パッケージ：	内容：	色：	品番：
ブラケース入口ール 75mm 幅x	3 m	赤	BK 06
ブラケース入口ール 75mm 幅x	3 m	緑	BK 876
ブラケース入口ール 75mm 幅x	3 m	青	BK 877
ブラケース入口ール 16mm 幅x	10 m	青	BK 07
ブラケース入口ール 16mm 幅x	10 m	赤	BK 08

バウシュ Arti-Check® 40 μ咬合紙

40ミクロン咬合紙の概略構造



赤・青で咬頭咬合位と偏心咬合位を印記



バウシュ Arti-Check® 40 μ咬合紙



バウシュ 40μ 極薄型咬合紙は極めて薄く、耐引裂性があり、両面を液体顔料でコーティングされています。本製品は材質が薄いので、印記が正確です。そのため、誤接触や擦れを避けることができます。液体顔料の特殊コーティングにより、あらゆる咬合接触や咬合干渉的確な印記が容易に行えます。金、セラミック、研磨された金属やアクリル等、検査の難しい湿った咬合面は、全く問題ありません。液体顔料の特殊カラーコーティングは、数多くの顔料を充填したマイクロカプセルから構成されています。わずかな咀嚼圧でもカプセルは破裂し、はっきりと見えるカラーを放出します。また、カラー再生により、重ねて印記できます。

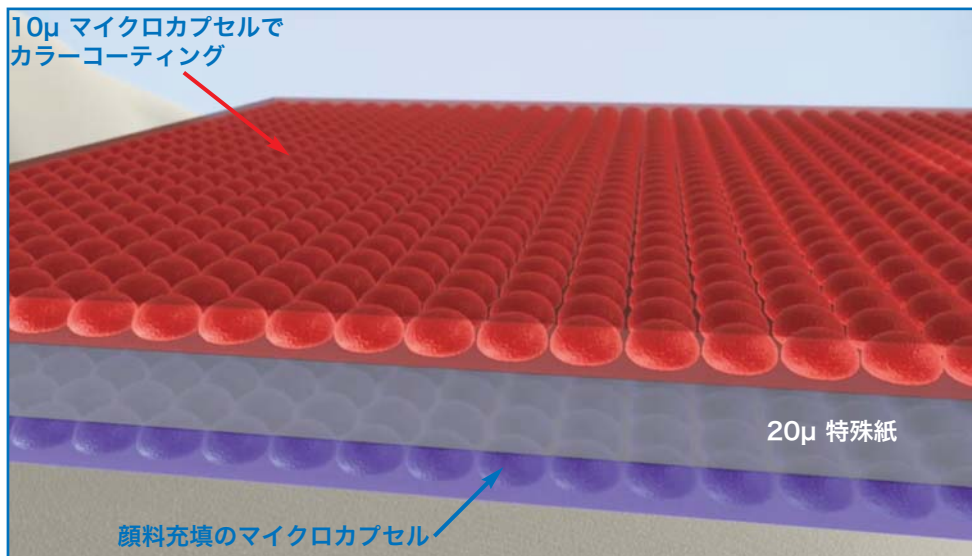
バウシュ40μ咬合紙は、特に咬頭咬合位と偏心咬合位を2色に塗り分け表示する場合に最適です。第一段階では、赤で咬頭咬合位を検査し、第二段階では青で偏心咬合位と検査します。色の順番はもちろん変更可能です。

パッケージ：	内容：	入数：	色：	品番：
箱入短冊型	プリカット冊子	200 枚	青	BK 09
箱入短冊型	プリカット冊子	200 枚	赤	BK 10
ブラケース入	10 x 7cmシート	100 枚	青	BK 11
ブラケース入	10 x 7cmシート	100 枚	赤	BK 12
ケース入ロール	16 mm幅	x 15 m	青	BK 13
ケース入ロール	16 mm幅	x 15 m	赤	BK 14
ケース入ロール	22 mm幅	x 10 m	青	BK 15
ケース入ロール	22 mm幅	x 10 m	赤	BK 16
詰替え用ロール	16 mm幅	x 15 m	青	BK 1013
詰替え用ロール	16 mm幅	x 15 m	赤	BK 1014
詰替え用ロール	22 mm幅	x 10 m	青	BK 1015
詰替え用ロール	22 mm幅	x 10 m	赤	BK 1016



バウシュ Arti-Check® 40 μ咬合紙

40ミクロン咬合紙の概略構造



バイトガードの咬合調整



両側性平衡咬合による完全な義歯の調整

バウシュ Arti-Check® 40 μ咬合紙



Bausch咬合紙micro-thin 40μは馬蹄形でもお求めになれます。咬合紙はプリカットされ、ピンセットやバイトフォークを使わずに容易に取り扱うことができます。馬蹄形の咬合紙は全品、プラスチックディスペンサー入りで納品しますので、手で簡単に取り出せます。

技工士の方は、どちらの側が好ましい咬合面かが即座にわかります。全部床義歯及び部分床義歯補綴では、両側でバランスの取れた咬合をとる考え方を第一にして位置を調節しますが、そうした場合の咬合検査では、どの咬合様式を付与するに関わらず、すべての接触を均等にマーキングすることが特に望まれます。

歯列弓全体を均等にマーキングすることは、オクルーザル・スプリントを調節する上で欠かせません。こうしたときにBausch社の馬蹄型咬合紙を使用すれば、特に唾液で濡れた金属補綴物やCR、及びポーセレンなどの表面の上で咬合接触点を検査する際、作業が大幅に楽になります。

パッケージ :	内容 :	入数 :	色 :	品番 :
ブラケース入	馬蹄型シート	150 枚	青	BK 17
ブラケース入	馬蹄型シート	150 枚	赤	BK 18
箱入	短冊型プリカット冊子	200 枚	青/赤	BK 80
ブラケース入	馬蹄型シート	150 枚	青/赤	BK 81
ブラケース入	短冊型プリカットシート	200 枚	青	BK 61
ブラケース入	短冊型プリカットシート	200 枚	赤	BK 62
ブラケース入	短冊型プリカットシート	200 枚	青/赤	BK 63

バウシュ Arti-Fol® メタリック Shimstock-フィルム - 12 ミクロン

バウシュ Arti-Fol® メタリックの概略構造

6 μ カラーコーティングは親水性成分から成る

12 μ
耐引裂性メタリック
ポリエステル
フィルム



バウシュ Arti-Fol® メタリック
12 ミクロン -75 mm

バウシュ Arti-Fol® メタリック Shimstock-フィルム - 12 ミクロン



Arti-Fol® Metallic 12μは特殊な検査用フィルムですが、特性が大幅に改善されています。この検査用フィルムは、金属をコーティングした厚みがわずか12 μのポリエステルフィルムから構成されています。新たな組成の顔料コーティング膜とメタルコーティングフィルムの組合せで、用途によってはこれしかないというメリットが実現します。このフィルムの特徴は、特に優れた色の転写性です。とりわけセラミックに鏡面仕上げを施した金属の表面で、接触点をくっきりと可視化できます。メタルコーティングフィルムを使用するため、静電気が発生する問題も目に見えて減りました。また、このフィルムはピンセットの助けを借りずに容易に取り扱うことができます。さらにこの新材料は、引裂きに極めてよく耐え、従来のShimstock-Folieと異なり、Arti-Fol Metallicは対応する接触点を精確にマーキングします。フィルムの裏面が金属でコーティングされているため、着色面のコーティング面と非コーティング面を取り違えるおそれもあります。またArti-Fol® Metallicは引裂き耐性が高く、また材料の厚みが薄いため、ブリッジやクラウンを取り付けるにあたっておまかな接触を検査する目的には最適の材料です。Arti-Fol® Metallicは色も多彩、4色からお求めになれます。

顔料コーティング膜なしの従来品Shimstock Foilを幅8 mmと幅16 mmでご用意しておりますので、新製品のArti-Fol® Metallicとあわせて使用すれば完璧です。

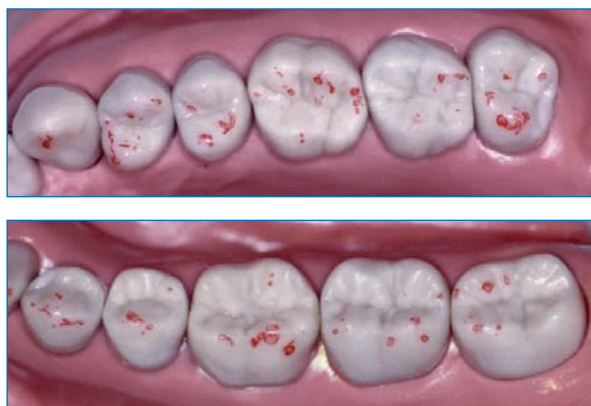
パッケージ：		幅：	色：	品番：
ディスペンサー入り20 m	片面	22 mm	黒	BK 30
ディスペンサー入り20 m	片面	22 mm	赤	BK 31
ディスペンサー入り20 m	片面	22 mm	緑	BK 32
ディスペンサー入り20 m	片面	22 mm	青	BK 33
100 シート (8mm×60mm)	片面	8 mm	赤	BK 35
100 シート (8mm×60mm)	コーティングなし	8 mm	—	BK 38
ディスペンサー入り20 m	コーティングなし	16 mm	—	BK 39
20 m	片面	75 mm	黒	BK 730
20 m	片面	75 mm	赤	BK 731
20 m ロール ケース入	両面	22 mm	黒/赤	BK 28
20 m 詰替え用ロール	両面	22 mm	黒/赤	BK 1028



YouTube
Boschert Group

Arti-Fol®アルティ・フォル 咬合フィルム 超薄型- 8 ミクロン

パウシュ Arti-Fol® の概略構造



連結キット(ボルト・ナット)は22 mm幅
以下のロールディスペンサー用です

ディスペンサー2個には BK902
ディスペンサー3個には BK903
ディスペンサー4個には BK904
ディスペンサー5個には BK905



Arti-Fol®アルティ・フォル 咬合フィルム 超薄型- 8 ミクロン



僅か数ミクロンの早期接触や咬合干渉でも患者に咬合機能不全（多くの場合咬合性外傷・TMDなど）を招くことがあります。

咬合接触点は非常に小さい場合が多く、咬合再構成の際に理想的な点接触が行われるように緻密な咬合調整を実現するために本咬合紙はあります。

また、高度に研磨された金属補綴物やセラミックスなどの咬合面では従来の咬合紙では殆ど認識できないような微細な咬合接触点も認識することができます。

咬合接触点の正確な輪郭外形を正確にかつ確実に検出できるように極めて薄く、耐引裂性に非常に優れています。

湿った咬合面にも確実に印記できるように親水性成分などが含まれております。咬合運動の種類によっても色を分けて使用できるように5種類の色調を揃えております。

パッケージ：	幅：	色：	品番：	詰替用ロール 品番：
20m プラケース入	片面	22 mm 黒	BK 20	BK 1020
20m プラケース入	片面	22 mm 赤	BK 21	BK 1021
20m プラケース入	片面	22 mm 緑	BK 22	BK 1022
20m プラケース入	片面	22 mm 青	BK 23	BK 1023
20m プラケース入	両面	22 mm 黒	BK 24	BK 1024
20m プラケース入	両面	22 mm 赤	BK 25	BK 1025
20m プラケース入	両面	22 mm 緑	BK 26	BK 1026
20m プラケース入	両面	22 mm 青	BK 27	BK 1027
20m プラケース入	片面	22 mm 白	BK 29	BK 1029



Arti-Fol®アルティ・フォル咬合フィルム 超薄型 - 8 ミクロン, 75 mm 幅

パウシュ Arti-Fol®の概略構造

6μ カラーコーティングは親水性
成分を含むワックスから成る

8μ 耐引裂性ポリエステル
フィルム



着色モデリングワックスへの接触試験には
White Arti-Fol® BK 29 または BK 79
を使用して下さい。

Arti-Fol®アルティ・フォル咬合フィルム

超薄型 - 8 ミクロン, 75 mm 幅



22 mm幅咬合試験フィルムに加え、当社製品レンジの全カラーが75 mm 幅でも購入いただけます。幅の広いフィルムは主に研究室で使用されています。例えば総歯列弓が容易に試験できます。特に総入れ歯やバイトガードの調整時には、総合的な咬合面の調整が不可欠です。このホルダーは、支持ピンが通るよう設計されています。22 mm幅フィルム同様、75 mm幅フィルムには5種類の色合いが揃っています。 歯科技工士は様々な目的に応じて、異なるカラーを使用できます。フル調整可能な咬合器では、停止接触や平衡側接触同様、正確な前突、側方変位、下顎後退が、異なるカラーで表示できます。75 mm幅フィルムには、拮抗的接触の印記用として、両面カラーコーディングタイプもあります。

着色モデリングワックス向けとして特別にデザインされた白の咬合フィルムもあります。中でも青や灰色のモデリングワックスの場合、白い接触点が暗色の背景にはっきりと目立って見えます。また、本フィルムは研磨された金属面にも効果的に印記できます。

パッケージ :	印記 :	幅 :	色 :	品番 :
20m紙箱入	片面	75 mm	黒	BK 70
20m紙箱入	片面	75 mm	赤	BK 71
20m紙箱入	片面	75 mm	緑	BK 72
20m紙箱入	片面	75 mm	青	BK 73
15m紙箱入	両面	75 mm	黒	BK 74
15m紙箱入	両面	75 mm	赤	BK 75
15m紙箱入	両面	75 mm	緑	BK 76
15m紙箱入	両面	75 mm	青	BK 77
20m紙箱入	片面	75 mm	白	BK 79

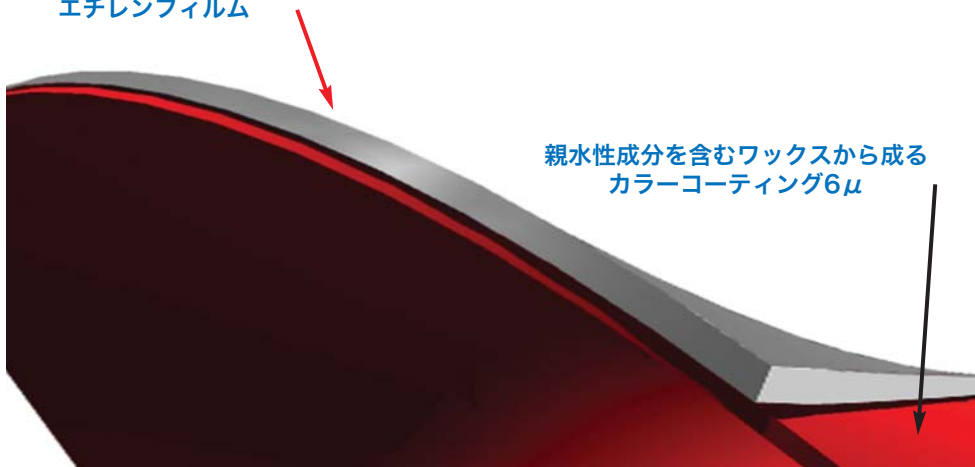
	品番 :
75mm幅用ロール用ディスペンサー	BK 137

16 μ ソフト咬合フィルム Gnatho Film ポリエチレン (PE) フィルム

Gnatho Film の概略構造

フレキシブルな16 μ ポリ
エチレンフィルム

親水性成分を含むワックスから成る
カラーコーティング6 μ



ガナソ・フィルム
10 x 7 cm

16μソフト咬合フィルム Gnatho Film ポリエチレン (PE) フィルム



Gnatho Filmは、ポリエチレン (PE) フィルムを使用し、ソフトでフレキシブルな咬合フィルムを開発いたしました。
PE素材の柔軟さで複雑な咬合面にも確実にフィットします。

カラーコーティングは弊社他フィルム製品と同じく、親水性ワックスカラーコーティングを使用しており、確かな印記をします。

パッケージ：	内容：	印記：	入数：	色：	品番：
ブラケース入	短冊型プリカット	片面	20 x 60mm	黒	BK 120
ブラケース入	短冊型プリカット	片面	20 x 60mm	赤	BK 121
ブラケース入	短冊型プリカット	片面	20 x 60mm	緑	BK 122
ブラケース入	短冊型プリカット	片面	20 x 60mm	青	BK 123
ブラケース入	短冊型プリカット	片面	70 x 100mm	黒	BK 170
ブラケース入	短冊型プリカット	片面	70 x 100mm	赤	BK 171
ブラケース入	短冊型プリカット	片面	70 x 100mm	緑	BK 172
ブラケース入	短冊型プリカット	片面	70 x 100mm	青	BK 173

Arti-Spot®

ハイスポットインジケータ



Arti-Spot®

ハイスポットインジケータ



アルティ・スポットはクラウン、インレー、オンレーの歯牙との適合やコンタクトの適合、可撤式クラウン、パーシャルデンチャーのクラスプのレストとレストシートの適合、デブリスの摩擦面を試験するための適合検査液です。

Arti-Spotはブラシで試験面に塗布します。溶剤は数秒で蒸発し、厚さ3μの薄いフィルムが残ります。接触する度にちょうど接触点で色が剥がれます。こうして基材がはっきりと光り、ハイスポットが検出できます。

金合金やセラミックスなどに高度に研磨された咬合面のハイスポットを試験するためにも使用できます。Arti-Spotに含まれるインクは食用色素で生態に対して安全です。

温水、ブラシやデンタルフロス、アルコール、イソプロピル・アルコール、スチームジェット等で除去してください。

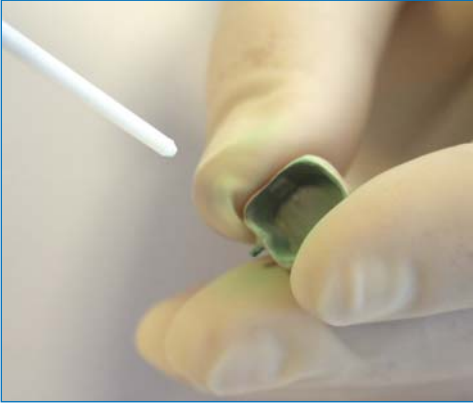
*石膏面には使用不可です。色が落ちません。*移動時と長時間ご使用にならない時は、筆を取り外しインナーキャップを付けてください。*希釈液は無水エタノールを1・2滴加えてください。

項目:	色:	内容:	品番:
Arti-Spot1	白	15ml	BK 85
Arti-Spot2	赤	15ml	BK 86
Arti-Spot3	青	15ml	BK 87



Arti-Spray®

咬合スプレー



クラウンにスプレー



極めて薄い着色に適用する場合はArti-Spray®
メタル-精密ノズル BK 289



隣接面接触



クラウン内の干渉

Arti-Spray®

咬合スプレー



Arti-Sprayは咬合接触やクラウン、ブリッジの支台歯と補綴物との適合精度を試験するための適合検査スプレーです。

極めて細かい粒子がダマの発生を抑え薄い皮膜を可能にしました。3～5 cmはなしてスプレーしてください。*スプレーの残量により距離調節が必要です。除去はスチームジェット等で容易に落とせます。

Arti-Sprayは生物学的に安全な原料を含み、環境面でも配慮されており、中性の高圧LPGガスが充填されています。

項目:	色:	内容:	品番:
Arti-Spray®	白	75 ml	BK 285
Arti-Spray®	赤	75 ml	BK 286
Arti-Spray®	青	75 ml	BK 287
Arti-Spray®	緑	75 ml	BK 288
Arti-Spray® 精密ノズル			BK 289



フレキシメーター ストリップス



フレキシメーター ストリップス



フレキシメーターstripsは、歯科医師、歯科技工士共に有益な新ツールです。歯台柱形成時にクラウンの素材により厚みを簡単に計測可能です。クラウンの素材により、ピンク1.0mm、1.5mm、青2.0mmがあります。最高200℃で滅菌可能なシリコン素材から作られています。

フレキシメーターstripsに適合検査液（アルティ・スポット）や適合検査スプレー（アルティ・スプレー）を塗布しての着色使用で、さらに効果的なインジケーターとなります。

項目:	内容:	厚み:	色:	品番:
Fleximeter-Strips	15 個	1,0 mm	ピンク	BK 250
Fleximeter-Strips	15 個	1,5 mm	緑	BK 251
Fleximeter-Strips	15 個	2,0 mm	青	BK 252
Fleximeter-Strips	15 個	アソート	アソート	BK 253
Fleximeter-Strips	3 個	アソート	アソート	BK 254





Dr. Jean Bausch GmbH & Co. KG
Oskar-Schindler-Straße 4
D-50769 Köln - Germany
Tel: +49-221-70936-0
Fax: +49-221-70936-66
E-Mail: info@bauschdental.de
Internet: www.bauschdental.de



Bausch Articulating Papers Japan K. K.
2nd Floor, 1-4-2 Jonan,
Ikedashi, Osaka Japan 563-0025
パウシュ咬合紙ジャパン株式会社
〒563-0025
大阪府池田市城南 1-4-2 2F
TEL +81 (0) 72-737-9501
FAX +81 (0) 72-737-9502
E-Mail: info@bauschdental.jp
Internet: www.bauschdental.jp



Bausch Articulating Papers, Inc.
12 Murphy Drive, Unit 4
Nashua, NH 03062, U.S.A.
Tel: +1-603-883-2155
Tel: 888-6-BAUSCH
Fax: +1-603-883-0606
E-Mail: info@bauschdental.com
Internet: www.bauschdental.com



Bausch Articulating Papers
(Australasia) Pty. Ltd
ABN 73093760402
G.P.O. Box 3733, Sydney NSW 2001,
Australia
Tel: +61-2-9345-1945
Fax: +61-2-9345-1955
E-Mail: info@bauschdental.com.au
Internet: www.bauschdental.com.au



Bausch Importação de Materiais
Odontológicos Ltda. EPP
Rua Paulo Eduardo Xavier de Toledo,
379 salas 8 e 9 Lt. 3 Q. 30.
13304-240 Itu-SP, Brasil
Tel: +55 11 4813 2806
Fax: +55 11 4813 2806
E-Mail: vendas@bausch.net
Internet: www.bausch.net

© 2013 Dr. Jean Bausch GmbH & Co. KG • 50769 Köln • Germany - © Bausch Articulating Papers, Inc. • Nashua, NH • U.S.A.
© 2013 Bausch Articulating Papers (Australasia) Pty. Ltd • Sydney • Australia - © Bausch Articulating Papers Japan K.K. • Osaka • Japan
© 2013 Bausch Importação de Materiais Odontológicos Ltda. EPP • Itu-SP • Brasil

Alle Behandlungen in diesem Katalog sind Beispiele. Bausch ist nicht verantwortlich für die fehlerhafte Verwendung der Produkte.
All treatments shown in this brochure are only recommendations to the dentist. The Bausch companies are not responsible for the results of misusing the Bausch products.